

地図-302 帝国書院『楽しく学ぶ 小学生の地図帳』ご検討の観点と対応する具体特色 教育基本法との対応

2020年度 内容解説資料

教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色 ※（ ）は教科用図書「地図」の掲載ページ
<p>第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4年間を通じて使用するため、児童の発達段階に応じた地図表現・配列を工夫するとともに、縮尺に応じて記載内容の精選を行っている。 (例) おもに中学年向け：「世界発見！」(p.1-3)、「広く見わたす地図」(p.19-28) おもに高学年向け：「都道府県を見る地図(100万分の1図)／くわしく見る地図(50万分の1図, 20万(30万)分の1図, 5万分の1図)」(p.31-72)、「世界の国々」(p.118-120) ・日本の領域(領土・領海・領空など)を正しく理解できるように、日本の領土とそのまわりの地図とともに、領域に関する模式図のほか、日本固有の領土および東西南北端の写真と解説を掲載している。(p.29-30) ・47都道府県の名称と位置を習得できるページ「都道府県の名前と位置」を設けている。(p.115-117) ・四方を海に囲まれた島国で、南北に長い日本列島の特徴が視覚的にイメージできる地図「日本をながめてみよう」を設置している。また、地震や火山活動との因果関係が考えられるように、海底地形のようすを再現している。(p.4-6) ・日本各地の特色や交通による地域間の結びつきがわかりやすく捉えられる160万分の1図「広く見わたす地図」を設けている。(p.19-28) ・47都道府県の位置や形、大きさを正確に理解できるように、「都道府県を見る地図」は、縮尺を原則100万分の1で統一している。(p.31-70) ・大都市とその周辺との結びつきがより詳細に読み取れる「くわしく見る地図」(50万分の1図, 30万分の1図, 20万分の1図)を設けている。(p.31, 35-36, 41-42, 45-46, 47-48, 53-54, 55, 59-60, 63-65, 68) ・六大陸と三海洋、おもな国の位置関係や形、大きさが正確に理解できるように、世界の州別地図は縮尺を4000万分の1で統一している。(p.75-76, 79-80, 83-84) ・日本と関係が深いアジア、ヨーロッパ、アメリカ合衆国は別途拡大図を設けている。(p.77-78, 81-82, 85-86) ・巻末には、日本と世界の統計とグラフを設けて、さまざまな学習場面と関連付けられる。(p.103-105)
<p>第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料活用能力が高められるように、地図を見る視点を示唆したり、地図活用を促したりするキャラクターを配置している。(全体) ・児童が主体的に地図帳を活用する中で、地図活用の技能や「社会的な見方・考え方」の育成につながる問い「地図マスタへの道」を設けている。(全体) ・生涯にわたって地図帳を使いこなすための基礎力を育めるように、「地図のやくそく」、「地図帳の使い方」を12ページにわたってわかりやすく扱っている。(p.7-18) ・地図帳の活用に必須の技能である「さくいん」の見方・引き方は、p.17のほか、p.106でもわかりやすく解説している。 ・動画やクイズなどによって学習を支援する「二次元コード」を適宜設置している。(全体) ・地図中の都道府県名や都道府県庁所在地名の漢字には、UD学参フォントを独自開発・採用している。「とめ・はね・はらい」が正しく表現されるため、国語科の学習にも資する。(日本地図部分) ・地名の漢字は、各自治体が定めた正式な字を採用し、すべての地名に漢字と対応する位置にふりがなを付して、正しい知識が身につけられる。(日本地図部分)

教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色 ※（ ）は教科用図書「地図」の掲載ページ
<p>第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ教育に配慮し、全編にわたってユニバーサルデザイン(タイトルレイアウトの統一、文字の書体・大きさ、文節改行、カラーバリアフリーを含む色覚特性に配慮した色づかいなど)を採用している。(全体) ・多様なコミュニケーション能力を身につけるために、手話による都道府県の表し方を紹介したコーナー「手話で表す都道府県」を設けている。(p.115) ・男女の平等の視点を意識し、男女の児童キャラクターは、ほぼ同数回登場するようにしている。(全体) ・自他との協調と協力の態度の育成を意識し、キャラクターどうしが学び、教え合いながら、学習していく場面を設定している。(p.7-18など) ・防災・減災への意識が高められるように、日本列島で起こった自然災害の事例を学ぶページを設けている。(p.91-92) ・自然災害の発生に備え、児童自身が身を守るために何ができるかを主体的に考えられる「防災マップづくり」を詳細に紹介している。(p.94) ・防災・減災に取り組む人々の努力や工夫を地域事例で取り上げている。(p.54「洪水への備え」、p.47-48, 61-62, 63-65「おもな広域防災拠点」「災害時のおもな避難場所」の凡例)
<p>第4号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・かけがえのない自然について理解できるように、「天然記念物」「貴重な動植物」「世界自然遺産」「ラムサール条約登録湿地」「世界ジオパーク」などを掲載している。(p.31-72, 87-88) ・環境保全への人々の取り組みを知る材料として、風力発電や地熱発電、太陽光発電などによる、自然エネルギーを利用した大規模な発電所がわかる記号を設けている。(p.31-72)
<p>第5号 伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「都道府県を見る地図(100万分の1図)／くわしく見る地図(50万分の1図)」は、地域の特色ある人々のくらしのようすや産業が読み取れるように、土地の高さによる色分け(等高段彩表現)と、市街地、田、畑、果樹園など土地の使われ方による色分け(土地利用表現)を組み合わせた地図表現を採用している。(p.31-72) ・各地で守り伝えられてきた祭りや伝統行事、歴史的建造物、自然などをイラストや絵記号で全編にわたって掲載している。(全体) ・歴史と文化を尊重する態度を育めるように、歴史地名や世界文化遺産について、それぞれ青色と緑色の反転文字で示している。(全体) ・日本の歴史と世界文化遺産を取り上げたページを設けている。(p.101-102) ・世界文化遺産や歴史地名が集中する京都市中心部や奈良市中心部などは見開きで大きく取り上げている。(p.49-50) ・日本各地の特色ある産業や生活に関わる地域資料図を掲載している。(p.32⑥, 54②, 55①, 66②, 71③, 88③) ・世界への興味や関心が高まるように、表見返しの世界全図には、おもな国(14か国)の挨拶や国旗、イラストを入れている。国名や一部イラストには英語を付記している。(p.1-3) ・他国を尊重する態度を育めるように、裏見返しの世界全図には、世界197か国の国旗を掲載している。(p.118-120) ・他国への理解が深まるように、世界の州別地図およびアメリカ合衆国の地図には、産業や文化、世界遺産に関わるイラストや現地の生活のようすがわかる写真を設けている。また、おもな国の国名や都市名、アメリカ合衆国の州名には英語を付記している。(p.75-86)